

学生確保の見通し等を記載した書類

目次

I 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

- 1 学生の確保の見通し 2 頁
 - (1) 定員充足の見込み(概要)
 - (2) 定員充足の概要となる客観的なデータの概要
 - (3) 学生納付金の設定の考え方

- 2 学生確保に向けた具体的な取組状況 24 頁
 - (1) オープンキャンパス
 - (2) 進学相談会
 - (3) 高等学校訪問
 - (4) 高等学校教員及び学習塾向け説明会

II 人材需要の動向等社会の要請

- 1 人材の養成に関する目的その後の教育研究上の目的(概要) 26 頁
 - (1) 人材の養成に関する目的
 - (2) 養成する人材

- 2 上記1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 26 頁
 - (1) 最近3年間の求人件数の状況
 - (2) 最近3年間の就職者数の状況
 - (3) 想定される競合大学の就職者数の状況

- 3 専門の調査機関による採用意向調査結果 28 頁

I 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

1 学生の確保の見通し

(1) 定員充足の見込み（概要）

【入学定員の考え方】

令和5（2023）年4月より新たに設置する健康科学部の栄養学科の入学定員の考え方は、栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の食物栄養学科の最近における志願状況や就職状況を踏まえるとともに、石川県、富山県、福井県、新潟県の高等学校を卒業した者の大学進学状況、競合が想定される学部等の受験者動向で入学定員を設定し、さらには、石川県をはじめとする周辺地域等に所在する高等学校の在校生に対する進学需要調査の結果で確認を行い、十分な学生確保を見込むことができると考えている。

具体的には、既設の短期大学部の食物栄養学科の入学定員60人を、より高度な学びを明確にするために、既設の短期大学部の食物栄養学科から60人を移行し、65人の入学定員とする。

(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

① 健康科学部の栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の栄養学科の最近5年間の入学志願状況等

健康科学部の栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の食物栄養学科の最近5年間の入学志願状況等は、入学定員80人に対して、平均志願者数は90人、平均受験者数は89人、平均入学者数は63人、平均入学定員充足率は73.3%、平均歩留まり率は71.1%となっており、

【表1】昨今の18歳人口の減少期及び四年制大学志向の強まりにより志願者の減少が続いていることから、令和4（2022）年度より入学定員を80人より60人に変更することにした。日本私立学校振興・共済事業団が公表している「私立大学・短期大学等入学志願動向」によれば、短期大学の令和3（2021）年度の入学定員充足率は82.56%であり、令和2（2020）年度より4.75ポイント減少している。集計学校数286校中、239校の83.6%が入学定員未充足という結果である。（参考資料1）家政系の学科においては、令和3（2021）年度52.7%が入学定員充足率80%未満であり、短期大学の入学定員未充足率は増加傾向にある。（参考資料2）

一方で、石川県内に唯一の管理栄養士課程を有する大学では志願倍率が3.0倍を超えており、同分野として四年制大学として一定のニーズがあること、また、管理栄養士養成課程を有する大学は石川県に1大学、福井県に1大学、富山県には存在しない状況であること、本学の既設の短期大学部の実績と歴史より、十分な学生確保の見通しがあるものと考えられる。

【表1】最近5年間の短期大学部食物栄養学科の入学志願状況

入学年度	2017	2018	2019	2020	2021	平均
	(H29)	(H30)	(H31)	(R2)	(R3)	
定員(人)	95	95	80	80	80	86
志願者(人)	110	84	84	91	81	90
受験者(人)	109	83	83	90	81	89
合格者(人)	108	83	83	90	79	89
入学者(人)	75	62	67	61	50	63
入定充足率(%)	78.9	65.3	83.8	76.3	62.5	73.3
歩留率(%)	69.4	74.7	80.7	67.8	63.3	71.1

〈参考資料1〉短期大学の概況 1. 志願者数等の増減状況

	R3年度	R2年度	増減
集計学校数	286校	291校	△ 5校
入学定員	52,242人	53,717人	△ 1,475人 (△2.7%)
志願者数	60,363人	70,019人	△ 9,656人 (△13.8%)
受験者数	58,331人	67,796人	△ 9,465人 (△14.0%)
合格者数	53,452人	57,871人	△ 4,419人 (△7.6%)
入学者数	43,132人	46,901人	△ 3,769人 (△8.0%)
志願倍率	1.16倍	1.3倍	△ 0.14ポイント
合格率	91.64%	85.36%	6.28ポイント
歩留率	80.69%	81.04%	△ 0.35ポイント
入学定員充足率	82.56%	87.31%	△ 4.75ポイント
入学定員充足率 100%未満の学校数	239校 (83.6%)	215校 (73.9%)	24校 (9.7ポイント)

〈参考資料2〉学科系統別・入学定員充足率の動向(短期大学)家政系

年度	H29	H30	R元	R2	R3
入学定員充足率	% 87.01	% 83.67	% 80.75	% 83.35	% 80.72
120%以上	学科 12	学科 2	学科 2	学科 7	学科 4
110%以上120%未満	5	9	9	1	7
100%以上110%未満	19	17	13	19	13
90%以上100%未満	16	21	16	17	13
80%以上90%未満	20	16	16	14	16
70%以上80%未満	26	17	22	24	24
70%未満	21	35	37	29	35
合計	119	117	115	111	112
100%以上の割合	% 30.3	% 23.9	% 20.9	% 24.3	% 21.4
80%以上100%未満の割合	30.3	31.6	27.8	27.9	25.9
80%未満の割合	39.5	44.4	51.3	47.7	52.7

※〈参考資料1〉及び〈参考資料2〉は、「日本私立学校振興・共済事業団 令和3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋

② 石川県、富山県、福井県、新潟県の高等学校及び中学校の在籍者数

本学のこれまでの入学者や志願者の出身県を見ると、石川県が最も多く、石川県、富山県、福井県、新潟県の4県で多くを占めており、広報活動を行っている地域も主にこの4県である。【表2】

【表2】最近5年間の人間総合学部 県別新入生数

出身県		入学年度		平成29 (2017)	平成30 (2018)	平成31 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	5年間 平均
		(人)	(%)						
石川県	(人)	106	131	131	145	118	126		
	(%)	80.3	82.9	84.0	84.3	86.1	83.5		
富山県	(人)	18	22	18	18	12	18		
	(%)	13.6	13.9	11.5	10.5	8.8	11.7		
福井県	(人)	1	1	2	3	1	2		
	(%)	0.8	0.6	1.3	1.7	0.7	1.0		
新潟県	(人)	2	1	1	4	2	2		
	(%)	1.5	0.6	0.6	2.3	1.5	1.3		
その他	(人)	5	3	4	2	4	4		
	(%)	3.8	1.9	2.6	1.2	2.9	2.5		
計	(人)	132	158	156	172	137	151		

令和3（2021）年度の石川県、富山県、福井県、新潟県の学校基本調査によると、健康科学部の開設初年度に受験対象者となる石川県を含む4県の全日制高等学校に在籍している2年生の生徒は 41,169人、健康科学部の開設2年目に受験対象となる石川県を含む4県の高等学校に在籍している1年生の生徒数は 40,800人となっている。【表3】

【表3】学校基本調査：高等学校の学年別生徒数（抜粋） 令和3（2021）年5月1日現在

	(人)			
	1学年	2学年	3学年	計
全 国	966,106	977,637	980,715	2,924,458
①石川県	9,518	9,592	9,977	29,087
②富山県	8,235	8,277	8,371	24,883
③福井県	6,651	6,603	6,549	19,803
④新潟県	16,396	16,697	16,847	49,940
①-④計	40,800	41,169	41,744	123,713

また、健康科学部の開設3年目に受験対象者となる石川県を含む4県の中学校に在籍している3年生の生徒は 44,232人、健康科学部の開設4年目に受験対象者となる石川県を含む4県の中学校に在籍している2年生の生徒は 43,878人となっている。【表4】

【表4】学校基本調査：中学校の学年別生徒数(抜粋) 令和3（2021）年5月1日現在

	(人)			
	1学年	2学年	3学年	計
全 国	1,071,635	1,079,904	1,078,168	3,229,707
①石川県	9,977	10,297	10,062	30,336
②富山県	8,567	8,705	8,874	26,146
③福井県	7,023	7,074	7,099	21,196
④新潟県	17,723	17,802	18,197	53,722
①-④計	43,290	43,878	44,232	131,400

なお、令和3（2021）年3月の石川県を含む4県の中学校を卒業した者の高等学校への進学率の過去3年間の平均は99.5%となっており、石川県を含む4県の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率を見ても、今後、石川県を含む4県の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。【表5】

【表5】学校基本調査：中学校を卒業した者の高等学校等への進学率(抜粋)

卒業年	区分	卒業生数 (人)	高等学校等 進学者 (人)	高等学校等 進学率 (%)
平成30（2018）年 3月卒業生	全 国	1,133,016	1,119,580	98.8
	①石川県	10,560	10,498	99.4
	②富山県	9,656	9,594	99.4
	③福井県	7,466	7,416	99.3
	④新潟県	19,201	19,124	99.6
	①-④計	46,883	46,632	99.5
平成31（2019）年 3月卒業生	全 国	1,112,083	1,098,876	98.8
	①石川県	10,674	10,609	99.4
	②富山県	9,552	9,472	99.2
	③福井県	7,186	7,138	99.3
	④新潟県	19,056	18,986	99.6
	①-④計	46,468	46,205	99.4
令和2（2020）年 3月卒業生	全 国	1,087,468	1,074,708	98.8
	①石川県	10,156	10,093	99.4
	②富山県	9,304	9,240	99.3
	③福井県	7,107	7,065	99.4
	④新潟県	18,495	18,417	99.6
	①-④計	45,062	44,815	99.5
過去3年間 の平均値	全 国	1,110,856	1,097,721	98.8
	①石川県	10,463	10,400	99.4
	②富山県	9,504	9,435	99.3
	③福井県	7,253	7,206	99.4
	④新潟県	18,917	18,842	99.6
	①-④計	46,138	45,884	99.5

③ 石川県、富山県、福井県、新潟県の人口動向等（年齢別人口による中長期的な見通し）

全国的に18歳人口の減少が予測されている中で、石川県、富山県、福井県、新潟県における学齢人口も減少傾向が示されており、石川県、富山県、福井県、新潟県が公表している最新の年齢（5歳階級）別推計人口をみると、15歳～19歳の人口は 249,000人、10歳～14歳の人口は 226,000人、9歳～5歳の人口は 209,000人となっており、今後の大学受験対象者となる14歳～5歳までの年齢別人口は 16.1%減少しているが、本学の既設の人間総合学部では石川県出身者の割合が過去5カ年の平均で83.5%と高く【表2】、石川県においては、14歳～5歳の人口減少率は 15.8%であり、中長期的にみても大学受験者が急激に減少することはないものと見込まれる。【表6】

【表6】石川県、富山県、福井県、新潟県人口統計（5歳階級）（抜粋） 平成30(2018)年10月1日現在

	総数 (千人)	0～4歳 (千人)	5～9歳 (千人)	10～14歳 (千人)	15歳～19歳 (千人)
全 国	126443	4838	5184	5392	5907
① 石川県	1143	44	48	51	57
② 富山県	1050	37	40	45	50
③ 福井県	774	30	33	36	39
④ 新潟県	2246	78	88	94	103
①-④ 合計	5213	189	209	226	249

*北陸三県及び新潟県の15～19歳から5～9歳の人口減少率 16.1%

*石川県の15～19歳から5～9歳の人口減少率 15.8%

④ 石川県、富山県、福井県、新潟県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

令和3（2021）年度の石川県、富山県、福井県、新潟県の学校基本調査によると、石川県、富山県、福井県、新潟県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、平成30（2018）年度は卒業生 45,807人のうち大学進学者は 20,601人で大学進学率は 45.0%、令和元（2019）年度は卒業生 45,310人のうち大学進学者は 20,379人で大学進学率は 45.0%、令和2（2020）年度は卒業生 45,181人のうち大学進学者は 21,261人で大学進学率は 47.1%となっている。

石川県、富山県、福井県、新潟県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学率は、平成30（2018）年の 45.0%から微増し令和2（2020）年は 47.1%となっており、18歳人口の減少期においても安定した大学進学状況で推移していることから、中長期的な確保の見通しがあるものと考えられる。【表7】

【表 7】学校基本調査：高等学校卒業者の県別大学進学率(抜粋)

卒業年	区分	高等学校 卒業生数(人)	左のうち大学に 進学した者* (人)	大学進学率 (%)
平成30(2018)年 3月卒業生	全 国	1,056,378	524,158	49.6
	① 石川県	10,357	5,038	48.6
	② 富山県	9,195	4,078	44.4
	③ 福井県	7,365	3,736	50.7
	④ 新潟県	18,890	7,749	41.0
	①-④計	45,807	20,601	45.0
平成31(2019)年 3月卒業生	全 国	1,050,559	523,466	49.8
	① 石川県	10,439	5,014	48.0
	② 富山県	9,142	4,048	44.3
	③ 福井県	7,167	3,600	50.2
	④ 新潟県	18,562	7,717	41.6
	①-④計	45,310	20,379	45.0
令和2(2020)年 3月卒業生	全 国	1,037,284	529,009	51.0
	① 石川県	10,418	5,221	50.1
	② 富山県	9,192	4,351	47.3
	③ 福井県	7,260	3,737	51.5
	④ 新潟県	18,311	7,952	43.4
	①-④計	45,181	21,261	47.1

* 短期大学は除く

⑤ 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

栄養学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は令和3(2021)年4月現在、金沢学院大学栄養学部栄養学科(入学定員80人、金沢市内)、仁愛大学人間生活学部健康栄養学科(入学定員75人、越前市内)、新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科(入学定員40人、新潟市内)である。この3大学を競合大学とする理由は、前述の、②石川県、富山県、福井県、新潟県の高等学校及び中学校の在籍者数で示した【表2】直近5年間の人間総合学部 県別新入生数でも述べたとおり、本学のこれまでの入学者、入学志願者は、石川県、富山県、福井県、新潟県で5年間平均では、97.5%を占めていることから、それぞれの県に開設されている同分野で類似の教育内容を有する、私立大学を競合大学とした。この3大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者又は受験者状況をみると、募集人員195人に対して志願者又は受験者数646人、志願倍率3.31倍、入学定員充足率は97.5%となっており、安定的な入学志願状況等を維持している。【表8】

【表8】類似学科等の過去3年間の志願者状況等

大学名	学部・学科	入学年度	定員(人)	志願者(人)	受験者(人)	入学者(人)	志願倍率(倍)	入定充足率(%)
A 金沢学院大学	栄養学部 栄養学科 <small>(2021年度に人間健康学部 健康栄養学科から改組)</small>	平成31(2019)	80	275	-	77	3.6	96.3
		令和2(2020)	80	337	-	80	4.2	100.0
		令和3(2021)	80	276	-	83	3.3	103.8
		過去3年間の平均値	80	296	-	80	3.7	100.0
B 仁愛大学	人間生活学部 健康栄養学科	平成31(2019)	75	-	141	72	-	96.0
		令和2(2020)	75	-	145	67	-	89.3
		令和3(2021)	75	-	83	52	-	69.3
		過去3年間の平均値	75	-	123	64	-	84.9
C 新潟医療福祉大学	健康科学部 健康栄養学科	平成31(2019)	40	231	183	43	5.4	107.5
		令和2(2020)	40	183	146	43	4.3	107.5
		令和3(2021)	40	267	222	43	6.2	107.5
		過去3年間の平均値	40	227	184	43	5.3	107.5

①「募集人員」は赤の塗りつぶしの合計で算出 ⇒ 195人

②「志願者又は受験者数」は緑色の塗りつぶしの合計で算出 ⇒ 646人

③「志願倍率」は、②/①で算出 ⇒ 3.31倍

④「入学定員充足率」は黄色の塗りつぶしの平均値で算出 ⇒ 97.5%

⑥ 専門の調査機関による進学意向調査結果

健康科学部の栄養学科の母体となる既設の短期大学部食物栄養学科の最近における志願状況や就職状況を踏まえるとともに、石川県、富山県、福井県、新潟県内の高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況、競合が想定される学科等の受験者動向などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込めるものと考えられるが、健康科学部の栄養学科の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、石川県をはじめとする周辺地域に所在する高等学校、及び本学の重要な教育方針であるキリスト教教育を理解しているキリスト教主義学校の2年生に対する進学意向に関するアンケート調査を実施した。

なお、キリスト教学校教育同盟には毎年、指定校として指定人数およびキリスト教学校教育同盟向け奨学制度を案内しており、受験及び入学者の実績もあることからアンケートの実施対象校とした。

【資料1】北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査結果報告書

⑦ 高校生アンケート調査結果の対象者、実施時期、回答者数について

新学部設置に関する高校生アンケートについて、下記の3種類の集計結果を順に示す。

ア. 【資料1】による、高校生アンケート調査

対象者：北陸地域（石川県、富山県、福井県）、新潟県に所在する高等学校及び、
キリスト教学校教育同盟加盟校の高等学校2年生

実施時期：令和3（2021）年8月～9月

回答者数（有効回答数）：8,522人

イ. 北陸学院高等学校への再アンケート調査

対象者：北陸学院高等学校3年生

実施時期：令和4（2022）年6月

回答者数（有効回答数）：324人

ウ．オープンキャンパス参加者（健康科学部への参加者）へのアンケート調査

対象者：オープンキャンパス参加者のうち、3年生（ア及びイの重複者でない者）

実施時期：令和4（2022）年6月19日（日）

回答者数（有効回答数）：20人

⑧ 【資料1】による高校生アンケート調査結果アについて

令和3（2021）年8月～9月に実施し、回収校数は78校で、回答者数（有効回答数）は、8,522人であった。このうち、高校卒業後に大学進学を希望する者（以下、「大学進学希望者」という。）は5,631人（66.1%）である。【表9】

【表9】高校卒業後の希望進路

	1 大学進学 (専門職大学含む)	2 短期大学進学 (専門職短期大学含む)	3 専門学校 進学	4 就 職	5 その他	不 明	合 計
回答者 全体	5,631 (66.1%)	410 (4.8%)	1,050 (12.3%)	1,173 (13.8%)	195 (2.3%)	63 (0.7%)	8,522 (100.0%)

注)上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<進学希望分野（第1希望、第2希望）>

進学を希望する分野について、大学進学希望者5,631人のうち第1希望として「家政学関係」と回答したのは277人（4.9%）、第2希望として「家政学関係」と回答したのは452人（8.0%）であり、合計すると729人（12.9%）の大学進学希望者が「家政学関係」への進学を希望している。【表10】

【表10】大学進学希望者の進学希望分野（第1希望、第2希望）

		1 家政学 関係	2 社会科 学関係	3 教育学・ 保育学 関係	4 人文科 学関係	5 理学・工 学・農学 関係	6 保健衛 生学関 係	7 医学・歯 学・薬学 関係	8 芸術学 関係	9 その他	不 明	合 計
大学進学 希望者	第1希望	277 (4.9)	1,301 (23.1)	569 (10.1)	806 (14.3)	1,176 (20.9)	753 (13.4)	286 (5.1)	222 (3.9)	198 (3.5)	43 (0.8)	5,631 (100.0)
	第2希望	452 (8.0)	987 (17.5)	787 (14.0)	969 (17.2)	512 (9.1)	512 (9.1)	529 (9.4)	434 (7.7)	147 (2.6)	302 (5.4)	5,631 (100.0)
	計	729 (12.9)	2,288 (40.6)	1,356 (24.1)	1,775 (31.5)	1,688 (30.0)	1,265 (22.5)	815 (14.5)	656 (11.6)	345 (6.1)	345 (6.1)	5,631 (—)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<健康科学部栄養学科に係る受験意向>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望している729人について、栄養学科を「受験したい」と回答したのは103人（14.1%）、「受験を検討する」と回答したのは168人（23.0%）であり、合計すると271人（37.1%）が栄養学科の受験に関心を示している。【表11】

【表11】 大学進学及び家政学関係への進学を希望する回答者の健康科学部栄養学科受験意向

	1 受験したい	2 受験を 検討する	3 受験しない	不 明	合 計
大学進学・ 家政学関係 進学希望者	103 (14.1)	168 (23.0)	436 (59.8)	22 (3.0)	729 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<北陸学院大学に係る入学意向>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科を「受験したい」と回答した103人について、北陸学院大学を受験して合格した場合「入学したい」と回答したのは41人(39.8%)、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは56人(54.4%)である。

また、大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科について「受験を検討する」と回答した168人について、北陸学院大学を受験して合格した場合「入学したい」と回答したのは23人(13.7%)、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは140人(83.3%)である。【表12】

【表12】 大学進学及び家政学関係への進学を希望し、かつ健康科学部栄養学科を受験したい又は受験を検討すると回答した回答者の北陸学院大学入学意向

		1 入学したい	2 併願先の結果に よっては 入学したい	不 明	合 計
大学進学・ 家政学関係 進学希望者	(栄養学科) 受験したい	41 (39.8)	56 (54.4)	6 (5.8)	103 (100.0)
	(栄養学科) 受験を検討する	23 (13.7)	140 (83.3)	5 (3.0)	168 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<健康科学部栄養学科に係る入学希望者>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科の受験を希望する回答者のうち、北陸学院大学を受験して合格した場合、栄養学科に「入学したい」と回答したのは36人、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは46人である。この「入学したい」と回答した36人については、栄養学科への入学を第1希望に考えている可能性が高いと考えられる。「併願先の結果によっては入学したい」と回答した46人については、栄養学科への入学を第1希望以外に考えている可能性があり、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性が高いと考えられる。

また、大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科の受験について検討すると回答した回答者のうち、北陸学院大学を受験して合格した場合、栄養学科に「入学したい」と回答したのは15人、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは92人である。この「入学したい」と回答した15人については、アンケート回答時点において栄養学科の受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高いと考えられる。「併願先の結果によっては入学したい」と回答した92人については、栄養学科への入学を第1希望以外に考えている可能性が高く、栄養学科の受験についても意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性があると考えられる。【表13】

【表13】 大学進学及び家政学関係への進学を希望し、かつ健康科学部栄養学科を受験したい又は受験を検討すると回答した回答者で、北陸学院大学に入学したい又は併願先の結果によっては入学したいと回答した回答者の入学希望学部学科

		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学 科	4 教育学部 初等中等教 育学科	合計
大学進学・ 家政学関係 進学希望者 かつ 健康科学部 受験したい	(北陸学院大学) 入学したい	36 (87.8)	3 (7.3)	2 (4.9)	0 (0.0)	41 (100.0)
	(北陸学院大学) 併願先の結果によっては 入学したい	46 (82.1)	7 (12.5)	2 (3.6)	1 (1.8)	56 (100.0)
大学進学・ 家政学関係 進学希望者 かつ 健康科学部 受験を検討する	(北陸学院大学) 入学したい	15 (65.2)	7 (30.4)	1 (4.3)	0 (0.0)	23 (100.0)
	(北陸学院大学) 併願先の結果によっては 入学したい	92 (65.7)	28 (20.0)	10 (7.1)	10 (7.1)	140 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

以上が、アの令和3(2021)年8月～9月に実施した新学部設置に関する高校生アンケートの結果である。

⑨ 北陸学院高等学校への再アンケート調査結果イについて

本学の併設校である、北陸学院高等学校の3年生に対し、令和4(2022)年6月に、再度新学部学科への入学意向を把握するために、高校生アンケートを実施した。なお、対象者はアで実施した、令和3(2021)年9月実施の高校生アンケートの回答者(当時2年生)と同じ対象者である。前回の結果(当時2年生)と再調査の結果(現在3年生)を比較して示し、再調査結果を基に説明を行う。

再調査の回答者数(有効回答数)は324人であった。このうち、大学進学希望者は260人(80.2%)である。【表14】

【表14】 高校卒業後の希望進路

	1 大学進学 (専門職大学含 む)	2 短期大学進学 (専門職短期大 学含む)	3 専門学校 進学	4 就 職	5 その他	不 明	合 計
2021(令和3) 年9月 (2年時)	258 (80.6%)	11 (3.4%)	40 (12.5%)	5 (1.6%)	5 (1.6%)	1 (0.3%)	320 (100.0%)
2022(令和4) 年6月 (3年時)	260 (80.2%)	5 (1.5%)	48 (14.8%)	6 (1.9%)	2 (0.6%)	3 (0.9%)	324 (100.0%)

注)上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<進学希望分野(第1希望、第2希望)>

進学を希望する分野について、大学進学希望者260人のうち第1希望として「家政学関係」と回答したのは20人(7.7%)、第2希望として「家政学関係」と回答したのは19人(7.3%)であり、合計すると39人(15%)の大学進学希望者が「家政学関係」への進学を希望している。【表15】

【表15】大学進学希望者の進学希望分野（第1希望、第2希望）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	不明	合計	
		家政学 関係	社会科 学関係	教育学・ 保育学 関係	人文科 学関係	理学・工 学・農学 関係	保健衛 生学関 係	医学・歯 学・薬学 関係	芸術学 関係	その他			
2021(令 和3)年 9月 (2年時)	大学進 学希望 者	第1希望	17 (6.6)	67 (26.0)	29 (11.2)	50 (19.4)	21 (8.1)	41 (15.9)	10 (3.9)	11 (4.3)	12 (4.7)	0 (0.0)	258 (100.0)
		第2希望	21 (8.1)	53 (20.5)	34 (13.2)	49 (19.0)	23 (8.9)	17 (6.6)	22 (8.5)	22 (8.5)	6 (2.3)	11 (4.3)	258 (100.0)
		計	38 (14.7)	120 (46.5)	63 (24.4)	99 (38.4)	44 (17.0)	58 (22.5)	32 (12.4)	33 (12.8)	18 (7)	11 (4.3)	258 (—)
2022(令 和4)年 6月 (3年時)	大学進 学希望 者	第1希望	20 (7.7)	69 (26.5)	27 (10.4)	52 (20.0)	29 (11.2)	39 (15.0)	7 (2.7)	7 (2.7)	8 (3.1)	2 (0.8)	260 (100.0)
		第2希望	19 (7.3)	64 (24.6)	21 (8.1)	45 (17.3)	12 (4.6)	20 (7.7)	16 (6.2)	17 (6.5)	9 (3.5)	37 (14.2)	260 (100.0)
		計	39 (15)	133 (51.1)	48 (18.5)	97 (37.3)	41 (15.8)	59 (22.7)	23 (9.4)	24 (9.2)	17 (6.6)	39 (15.0)	260 (—)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<健康科学部栄養学科に係る受験意向>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望している39人について、栄養学科を「受験したい」と回答したのは15人(38.5%)、「受験を検討する」と回答したのは5人(12.8%)であり、合計すると20人(51.3%)が栄養学科の受験に関心を示している。【表16】

【表16】大学進学及び家政学関係への進学を希望する回答者の健康科学部栄養学科受験意向

		1	2	3	不明	合計
		受験したい	受験を 検討する	受験しない		
2021(令 和3)年 9月 (2年時)	大学進学・ 家政学関係 進学希望者	10 (26.3)	18 (47.4)	8 (21.0)	2 (5.3)	38 (100.0)
2022(令 和4)年 6月 (3年時)	大学進学・ 家政学関係 進学希望者	15 (38.5)	5 (12.8)	19 (48.7)	0 (00)	39 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<北陸学院大学に係る入学意向>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科を「受験したい」と回答した15人について、北陸学院大学を受験して合格した場合「入学したい」と回答したのは11人(73.3%)、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは4人(26.7%)である。

また、大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科について「受験を検討する」と回答した5人について、北陸学院大学を受験して合格した場合「入学したい」と回答したのは1人(20.0%)、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは4人(80.0%)である。【表17】

【表17】 大学進学及び家政学関係への進学を希望し、かつ健康科学部栄養学科を受験したい又は受験を検討すると回答した回答者の北陸学院大学入学意向

			1	2	不 明	合 計
			入学したい	併願先の結果 によっては 入学したい		
2021(令和3)年 9月 (2年時)	大学進学・ 家政学関係 進学希望者	(栄養学科) 受験したい	6 (60.0)	4 (40.0)	0 (0.0)	10 (100.0)
		(栄養学科) 受験を検討する	7 (38.9)	11 (61.1)	0 (0.0)	18 (100.0)
2022(令和4)年 6月 (3年時)	大学進学・ 家政学関係 進学希望者	(栄養学科) 受験したい	11 (73.3)	4 (26.7)	0 (0.0)	15 (100.0)
		(栄養学科) 受験を検討する	1 (20.0)	4 (80.0)	0 (0.0)	5 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<健康科学部栄養学科に係る入学希望者>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科の受験を希望する回答者のうち、北陸学院大学を受験して合格した場合、栄養学科に「入学したい」と回答したのは 11人、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは 4人である。この「入学したい」と回答した 11人については、栄養学科への入学を第1希望に考えている可能性が高いと考えられる。「併願先の結果によっては入学したい」と回答した 4人については、栄養学科への入学を第1希望以外に考えている可能性があり、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性が高いと考えられる。

また、大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科の受験について検討すると回答した回答者のうち、北陸学院大学を受験して合格した場合、栄養学科に「入学したい」と回答したのは 1人、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは 4人である。この「入学したい」と回答した 1人については、アンケート回答時点において栄養学科の受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高いと考えられる。「併願先の結果によっては入学したい」と回答した 4人については、栄養学科への入学を第1希望以外に考えている可能性が高く、栄養学科の受験についても意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性があると考えられる。【表18】

【表18】大学進学及び家政学関係への進学を希望し、かつ健康科学部栄養学科を受験したい又は受験を検討すると回答した回答者で、北陸学院大学に入学したい又は併願先の結果によっては入学したいと回答した回答者の入学希望学部学科

			1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育 学科	4 教育学部 初等中等教 育学科	合計
2021 (令和3)年 9月 (2年時)	大学進学・家政学関係 進学希望者かつ 健康科学部 受験したい	(北陸学院大学) 入学したい	5 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)	0 (0.0)	6 (100.0)
		(北陸学院大学) 併願先の結果によっては 入学したい	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (100.0)
	大学進学・家政学関係 進学希望者かつ 健康科学部 受験を検討する	(北陸学院大学) 入学したい	5 (71.4)	2 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)
		(北陸学院大学) 併願先の結果によっては 入学したい	10 (90.9)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)	11 (100.0)
2022 (令和4)年 6月 (3年時)	大学進学・家政学関係 進学希望者かつ 健康科学部 受験したい	(北陸学院大学) 入学したい	11 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (100.0)
		(北陸学院大学) 併願先の結果によっては 入学したい	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (100.0)
	大学進学・家政学関係 進学希望者かつ 健康科学部 受験を検討する	(北陸学院大学) 入学したい	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
		(北陸学院大学) 併願先の結果によっては 入学したい	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

以上が、イの本学併設校である、北陸学院高等学校の3年生に対し、再度高校生アンケートを実施した結果である。

⑩ オープンキャンパス参加者（健康科学部への参加者）へのアンケート調査結果ウについて

令和4年（2022）年6月19日（日）に本学で開催した、オープンキャンパス参加者 36人（健康科学部への参加者）に対し、新学部学科への入学意向を把握するために、高校生アンケートを実施した。なお、対象者はアで実施した、令和3（2021）年9月実施の回答者（当時2年生）と重複がないことと、現在3年生であることを確認し、集計を行った。

回答者数（有効回答数）は 20人であった。このうち大学進学希望者は 19人（95.0%）である。【表19】

【表19】高校卒業後の希望進路

	1 大学進学 (専門職大学含 む)	2 短期大学進学 (専門職短期大 学含む)	3 専門学校 進学	4 就 職	5 その他	不 明	合 計
2022(令和4)年6月 オープンキャンパス 参加者	19 (95.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (100.0%)

注)上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<進学希望分野（第1希望、第2希望）>

進学を希望する分野について、大学進学希望者 19人のうち第1希望として「家政学関係」と回答したのは 15人（80.0%）、第2希望として「家政学関係」と回答したのは 1人（5.0%）であり、合計すると 16人（85.0%）の大学進学希望者が「家政学関係」への進学を希望している。【表20】

【表20】大学進学希望者の進学希望分野（第1希望、第2希望）

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	不明	合計
			家政学 関係	社会科 学関係	教育学・ 保育学 関係	人文科 学関係	理学・工 学・農学 関係	保健衛 生学関 係	医学・歯 学・薬学 関係	芸術 学関係	その 他		
2022 (令和4) 年6月 オープン キャン パス参 加者	大学進 学希望 者	第1希望	15 (78.9)	0 (0.0)	1 (5.3)	1 (5.3)	1 (5.3)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (100.0)
		第2希望	1 (5.3)	1 (5.3)	6 (31.6)	6 (31.6)	3 (15.8)	0 (0.0)	1 (5.3)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (100.0)
		計	16 (84.2)	1 (5.3)	7 (36.9)	7 (36.9)	4 (20.0)	1 (5.3)	1 (5.3)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (—)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<健康科学部栄養学科に係る受験意向>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望している 16人について、栄養学科を「受験したい」と回答したのは 12人（75.0%）、「受験を検討する」と回答したのは 4人（25.0%）であり、合計すると 16人（100%）が栄養学科の受験に関心を示している。【表21】

【表21】大学進学及び家政学関係への進学を希望する回答者の健康科学部栄養学科受験意向

		1	2	3	不明	合計
		受験したい	受験を 検討する	受験しない		
2022(令和4)年6月 オープンキャンパス 参加者	大学進学・ 家政学関係 進学希望者	12 (75.0)	4 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<北陸学院大学に係る入学意向>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科を「受験したい」と回答した 12人について、北陸学院大学を受験して合格した場合「入学したい」と回答したのは 8人（66.7%）、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは 4人（33.3%）である。

また、大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科について「受験を検討する」と回答した 4人について、北陸学院大学を受験して合格した場合「入学したい」と回答したのは 1人（25.0%）、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは 3人（75.0%）である。【表22】

【表22】大学進学及び家政学関係への進学を希望し、かつ健康科学部栄養学科を受験したい又は受験を検討すると回答した回答者の北陸学院大学入学意向

			1 入学したい	2 併願先の結果 によっては 入学したい	不 明	合 計
2022(令和4)年 6月オープンキャンパス参加者	大学進学・家政学関係進学希望者	(栄養学科)受験したい	8 (66.7)	4 (33.3)	0 (0.0)	12 (100.0)
		(栄養学科)受験を検討する	1 (25.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	4 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

<健康科学部栄養学科に係る入学希望者>

大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科の受験を希望する回答者のうち、北陸学院大学を受験して合格した場合、栄養学科に「入学したい」と回答したのは 8人、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは 4人である。この「入学したい」と回答した 8人については、栄養学科への入学を第1希望に考えている可能性が高いと考えられる。「併願先の結果によっては入学したい」と回答した 4人については、栄養学科への入学を第1希望以外に考えている可能性があり、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性が高いと考えられる。

また、大学進学希望者で家政学関係への進学を希望し、かつ栄養学科の受験について検討すると回答した回答者のうち、北陸学院大学を受験して合格した場合、栄養学科に「入学したい」と回答したのは 1人、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは 3人である。この「入学したい」と回答した 1人については、アンケート回答時点において栄養学科の受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高いと考えられる。「併願先の結果によっては入学したい」と回答した 3人については、栄養学科への入学を第1希望以外に考えている可能性が高く、栄養学科の受験についても意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性があると考えられる。【表23】

【表23】大学進学及び家政学関係への進学を希望し、かつ健康科学部栄養学科を受験したい又は受験を検討すると回答した回答者で、北陸学院大学に入学したい又は併願先の結果によっては入学したいと回答した回答者の入学希望学部学科

			1 健康科学部 栄養学科	合 計
2022(令和4)年 6月 オープンキャンパス参加者	大学進学・家政学関係進学希望者かつ健康科学部受験したい	(北陸学院大学)入学したい	8 (100.0)	8 (100.0)
		(北陸学院大学)併願先の結果によっては入学したい	4 (100.0)	4 (100.0)
	大学進学・家政学関係進学希望者かつ健康科学部受験を検討する	(北陸学院大学)入学したい	1 (100.0)	1 (100.0)
		(北陸学院大学)併願先の結果によっては入学したい	3 (100.0)	3 (100.0)

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)

以上が、ウのオープンキャンパス参加者に対して、高校生アンケートを実施した結果である。

⑪ 過去3年間における人間総合学部及び短期大学部食物栄養学科の入学者の進路決定時期

以上のアンケート調査ア、イ、ウの結果を踏まえ、本学部の入学希望者について検討する。はじめに、本学が毎年新入生に対して行っている「新入生アンケート」における本学の志望順位と本学への受験決定時期について、既設の人間総合学部の入学者の過去3年間における結果が【表24】である。また、短期大学部食物栄養学科の過去3年間における結果が【表25】である。

【表24】人間総合学部入学者の「第1志望」「第1志望以外」の進路決定時期

アンケート実施年度		第1志望			第1志望以外			合計
		1年前半～ 2年中頃	2年後半～ 3年後半	その他	1年前半～ 2年中頃	2年後半～ 3年後半	その他	
令和元 (2019)	人	8	67	7	0	68	6	156
	%	5.1	42.9	4.5	0.0	43.6	3.8	100.0
令和2 (2020)	人	11	74	3	0	81	1	170
	%	6.5	43.5	1.8	0.0	47.6	0.6	100.0
令和3 (2021)	人	18	72	4	0	28	2	124
	%	14.5	58.1	3.2	0.0	22.6	1.6	100.0
総計	人	37	213	14	0	177	9	450
	%	8.2	47.3	3.1	0.0	39.3	2.0	100.0
		58.7			41.3			

人間総合学部入学者のうち、本学を第1志望としていたのは過去3年間平均で58.7%、第1志望以外としていたのは41.3%であり、約6割は第1志望、約4割は第1志望以外となっている。

また、今回の進学意向調査は高校2年生に対して令和3（2021）年9月に実施したが、高校2年生の9月時点、つまり高校2年生の中頃の時点で本学への受験を決めていたのは、本学第1志望の学生では8.2%、第1志望以外の学生では0.0%であり、大半の学生は高校2年生の後半以降に本学の受験を決めている。

【表25】短期大学部食物栄養学科の「第1志望」「第1志望以外」の進路決定時期

アンケート実施年度		第1志望			第1志望以外			合計
		1年前半～ 2年中頃	2年後半～ 3年後半	その他	1年前半～ 2年中頃	2年後半～ 3年後半	その他	
令和元 (2019)	人	7	46	2	0	10	1	66
	%	10.6	69.7	3.0	0.0	15.2	1.5	100.0
令和2 (2020)	人	11	74	3	0	81	1	170
	%	6.5	43.5	1.8	0.0	47.6	0.6	100.0
令和3 (2021)	人	18	72	4	0	28	2	124
	%	14.5	58.1	3.2	0.0	22.6	1.6	100.0
総計	人	36	192	9	0	119	4	360
	%	10.0	53.3	2.5	0.0	33.1	1.1	100.0
		65.8			34.2			

短期大学部食物栄養学科のうち、本学を第1志望としていたのは過去3年間平均で65.8%、第1志望以外としていたのは34.2%であった。進路決定時期は、高校2年生の中頃の時点で本学への受験を決めていたのは、本学第1志望の学生では10.0%、第1志望以外の学生では0.0%であり、人間総合学部同様に、大半の学生は高校2年生の後半以降に本学の受験を決めている。

⑫ 高校生アンケート調査結果ア、イ、ウからの入学希望者検討

アンケート集計結果の区分を、区分1～区分4とした。【表26】アの結果は下記の通りとなる。区分1及び区分2は、アンケート問4の設問で、健康科学部栄養学科を「受験したい」と回答した者であり、本学科への受験意向は強い層と考える。【表26】

【表26】高校生アンケート 区分表

区分	問2 「大学進学」を選択 問3 「家政学」を選択 問5(2) 「健康科学部栄養学科に入学希望」を選択	ア 回答数
区分1	問4 「受験したい」を選択 問5(1) 「入学したい」を選択	36人
区分2	問4 「受験したい」を選択 問5(1) 「併願先の結果によっては入学したい」を選択	46人
区分3	問4 「受験を検討する」を選択 問5(1) 「入学したい」を選択	15人
区分4	問4 「受験を検討する」を選択 問5(1) 「併願先の結果によっては入学したい」を選択	92人

注) 問2：高校卒業後の進路、問3：進学希望分野、問5(2)：入学希望の学科
問4：健康科学部栄養学科の受験意向、問5(1)：合格の場合の入学意向

イの北陸学院高等学校の区分1～区分4について、2021(令和3)年の調査結果と2022(令和4)年の再調査結果を比較した表が【表27】である。回答対象者が重複するため、入学希望者検討には、ア(北陸学院高校集計数)とイの調査結果との、増減回答数を使用する。

【表27】北陸学院高等学校3年生への再アンケート結果回答の比較と増減回答数

区分	問2 「大学進学」を選択 問3 「家政学」を選択 問5(2) 「健康科学部栄養学科に入学希望」を選択	ア2021年9月 (2年時) 回答数	イ2022年6月 (3年時) 回答数	増減(イ-ア) 回答数
区分1	問4 「受験したい」を選択 問5(1) 「入学したい」を選択	5人	11人	+6人
区分2	問4 「受験したい」を選択 問5(1) 「併願先の結果によっては入学したい」を選択	3人	4人	+1人
区分3	問4 「受験を検討する」を選択 問5(1) 「入学したい」を選択	5人	1人	-4人
区分4	問4 「受験を検討する」を選択 問5(1) 「併願先の結果によっては入学したい」を選択	10人	4人	-6人

注) 問2：高校卒業後の進路、問3：進学希望分野、問5(2)：入学希望の学科
問4：健康科学部栄養学科の受験意向、問5(1)：合格の場合の入学意向

【表24】【表25】で示したとおり、本学への入学者層は、高校2年後半から3年後半に進路決定する割合が多く、【表27】の北陸学院高等学校の結果では、区分1及び区分2の「受験し

たい」の回答数が、8名から15名に増えた。また、区分1の健康科学部栄養学科への受験を希望し、かつ入学希望である回答数が5名から11名に増えた。逆に、区分3及び区分4の、弱い受験意向層及び入学意向層の回答数は、前回より減った結果となり、より明確に進路決定したことが窺える。

ウの本学オープンキャンパス参加者（健康科学部参加）への、アンケート結果でも、3年生の6月時点での参加は、受験意向、入学意向とも強い層が参加していることが窺える。

最終的な回答数を算出するにあたり、アの調査結果より、イの北陸学院高等学校の重複を避けるため、【表27】の増減回答数と、ウのオープンキャンパス参加者の回答数を含め、入学希望者数を試算する根拠とする、最終アンケート回答数を【表28】に示す。

【表28】高校生アンケート（最終） 区分表

区分	問2 「大学進学」を選択 問3 「家政学」を選択 問5（2）「健康科学部栄養学科に入学希望」を選択	ア 2021年8月～9月 回答数	イ 北陸学院高等学校アンケート（増減） 回答数	ウ 2022年6月オープンキャンパス参加者回答数	最終 回答数
区分1	問4 「受験したい」を選択 問5（1）「入学したい」を選択	36人	+6人	8人	50人
区分2	問4 「受験したい」を選択 問5（1）「併願先の結果によっては入学したい」を選択	46人	+1人	4人	51人
区分3	問4 「受験を検討する」を選択 問5（1）「入学したい」を選択	15人	-4人	1人	12人
区分4	問4 「受験を検討する」を選択 問5（1）「併願先の結果によっては入学したい」を選択	92人	-6人	3人	89人

注）問2：高校卒業後の進路、問3：進学希望分野、問5（2）：入学希望の学科
問4：健康科学部栄養学科の受験意向、問5（1）：合格の場合の入学意向

⑬ 入学希望者数の推計

入学希望者数を試算するうえで、この4つの各区分をまず、2つのパターンに分けて考える。パターン1は、区分1及び区分2の「受験したい」と回答した、受験意向が強い層とし、パターン2は区分3及び区分4の「受験を検討する」と回答した、受験意向が弱い層とする。

それぞれのパターンには、「入学したい」と回答した入学意向が強い層と、「併願先の結果によっては入学したい」と回答した入学意向が弱い層がある。この、入学意向の違いを踏まえ入学希望者を試算するにあたり、パターン1では、本学の過去5年間の入学選抜試験での歩留率を根拠とし、試算を行う。なお、推計では区分1は、専願選抜の歩留率を、区分2は、併願選抜の歩留率を用いる。歩留率は、本学の間人総合学部の割合を、推計1とする。

【表29】健康科学部栄養学科の基礎となる既設の短大学部食物栄養学科の割合を、推計2とする。【表30】

【表29】過去5年間の人間総合学部入学選抜（専願・併願）別入学志願状況及び歩留率

人間総合学部		志願者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	入学者 (人)	歩留率(%)	
入学年度							
2017 (H29)	専願選抜 合計	49	49	49	49	100.0	44.6
	併願選抜 合計	266	264	247	83	33.6	
2018 (H30)	専願選抜 合計	84	84	84	84	100.0	51.6
	併願選抜 合計	241	239	224	75	33.5	
2019 (H31)	専願選抜 合計	55	55	55	55	100.0	44.3
	併願選抜 合計	316	312	297	101	34.0	
2020 (R2)	専願選抜 合計	65	65	65	65	100.0	47.5
	併願選抜 合計	329	326	297	107	36.0	
2021 (R3)	専願選抜 合計	87	87	86	86	100.0	42.4
	併願選抜 合計	319	307	237	51	21.5	
総計	専願選抜 合計	340	340	339	339	100.0	46.1
	併願選抜 合計	1471	1448	1302	417	32.0	

【表30】過去5年間の短期大学部食物栄養学科入学者選抜（専願・併願）別入学志願状況及び歩留率

食物栄養学科		志願者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	入学者 (人)	歩留率(%)	
入学年度							
2017 (H29)	専願選抜 合計	51	51	51	51	100.0	69.4
	併願選抜 合計	60	58	57	24	42.1	
2018 (H30)	専願選抜 合計	49	49	49	49	100.0	74.7
	併願選抜 合計	35	34	34	13	38.2	
2019 (H31)	専願選抜 合計	56	56	56	56	100.0	80.7
	併願選抜 合計	28	27	27	11	40.7	
2020 (R2)	専願選抜 合計	46	45	45	45	100.0	67.8
	併願選抜 合計	45	45	45	16	35.6	
2021 (R3)	専願選抜 合計	41	41	41	41	100.0	69.4
	併願選抜 合計	30	30	31	9	29.0	
総計	専願選抜 合計	243	242	242	242	100.0	72.2
	併願選抜 合計	198	194	194	73	37.6	

※ 専願選抜は、総合型選抜専願制、学校推薦型選抜指定校制・公募制の計。

※ 併願選抜は、総合型選抜併願制、一般選抜、大学入学共通テスト利用制、社会人選抜の計。

パターン1の推計の根拠を以下に示す。推計1は、人間総合学部の歩留率の5年平均（専願合計100%、併願合計32.0%）【表29】を、推計2は、短期大学部食物栄養学科の歩留率の5年平均（専願合計100%、併願合計37.6%）【表30】を用いる。

「区分1」は栄養学科の受験及び、入学を強く志望しており、専願選抜受験層と仮定した。

- ・ 「推計1」 100%が受験し、そのうち100%が入学を希望。
- ・ 「推計2」 100%が受験し、そのうち100%が入学を希望。

「区分2」は栄養学科の受験を希望し、入学は検討中であり、併願選抜受験層と仮定した。

- ・ 「推計1」 100%が受験し、そのうち32.0%が入学を希望。
- ・ 「推計2」 100%が受験し、そのうち37.6%が入学を希望。

【表31】区分1及び区分2における入学希望者数

アンケート結果		推計1	入学希望者数 ^{注1}
区分1	50人	100%が受験し、そのうち100%が入学を希望。	50人×1.0×1.0⇒50人
区分2	51人	100%が受験し、そのうち32.0%が入学を希望。	51人×0.32×1.0⇒16人
—		合計	66人
アンケート結果		推計2	入学希望者数
区分1	50人	100%が受験し、そのうち100%が入学を希望。	50人×1.0×1.0⇒50人
区分2	51人	100%が受験し、そのうち37.6%が入学を希望。	51人×0.376×1.0⇒19人
—		合計	69人

(注1) 端数切り捨て。

上記、「【表31】区分1及び区分2における入学希望者数」の結果、本学の健康科学部栄養学科へ強い受験意向層の入学希望者数は、入学定員65人を満たす66人～69人となった。

次に、パターン2として、【表28】の区分3及び区分4の「受験を検討する」と回答した、受験意向が弱い層の推計を検討する。この、受験意向が弱い層からの受験者数を試算するにあたり、本学の過去5年間のオープンキャンパス参加者からの受験者割合を根拠とし、試算を行う。【表32】なお、受験者数、入学者数は、人間総合学部及び、短期大学の合算である。

【表32】過去5年間のオープンキャンパス参加者（実数）（高校1～3年のいずれかで参加）の受験・入学率

高校卒業年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	平均値
オープンキャンパス参加者（人）	578	631	543	439	356	509.4
うち受験者（人）	200	225	217	159	147	189.6
専願選抜（人）	149	132	128	139	119	133.4
併願選抜（人）	51	93	89	20	28	56.2
オープンキャンパス参加者の受験率	34.6%	35.7%	40.0%	36.2%	41.3%	37.2%
専願選抜	25.8%	20.9%	23.6%	31.7%	33.4%	26.2%
併願選抜	8.8%	14.7%	16.4%	4.6%	7.9%	11.0%
入学者（人）	180	191	182	155	133	168.2
オープンキャンパス参加者の入学率	31.1%	30.3%	33.5%	35.3%	37.4%	33.0%

パターン2の推計の根拠を以下に示す。推計1、推計2ともに、「受験を検討する」と回答した層を、本学のオープンキャンパス参加者に仮定し、【表32】過去5年間のオープンキャンパス参加者（高校1～3年のいずれかで参加）からの併願選抜平均受験率である、11.0%を用いる。なお、オープンキャンパス参加者は希望学部学科が変化する場合や、未定とする者も多いため、推計1、推計2ともに、同じ割合を使用する。「受験を検討する」と回答した回答者のうち、11.0%が本学を受験するとする。

「区分3」は栄養学科の受験は検討中であり、合格した場合は入学を希望している。

- ・ 「推計1」 11.0%が受験し、そのうち100%が入学を希望。
- ・ 「推計2」 11.0%が受験し、そのうち100%が入学を希望。

「区分4」は栄養学科の受験は検討中であり、入学も検討中である。入学志望度はパターン1同様に、併願選抜受験層と仮定した。

- ・ 「推計1」 11.0%が受験し、そのうち32.0%が入学を希望。
- ・ 「推計2」 11.0%が受験し、そのうち37.6%が入学を希望。

【表33】 区分3及び区分4における入学希望者数

アンケート結果		推計1	入学希望者数 ^{注1}
区分3	12人	11.0%が受験し、そのうち100%が入学を希望。	12人×0.11×1.0⇒1人
区分4	89人	11.0%が受験し、そのうち32.0%が入学を希望。	89人×0.11×0.32⇒3人
—		合計	4人
アンケート結果		推計2	入学希望者数
区分3	12人	11.0%が受験し、そのうち100%が入学を希望。	12人×0.11×1.0⇒1人
区分4	89人	11.0%が受験し、そのうち37.6%が入学を希望。	89人×0.11×0.376⇒3人
—		合計	4人

(注1) 端数切り捨て。

上記、「【表33】 区分3及び区分4における入学希望者数」の結果、本学の健康科学部栄養学科へ弱い受験意向層の入学希望者数は、入学定員65人の6%である4人となった。

⑭ 入学希望者検討のまとめ

「受験したい」と回答した受験意向が強い層の推計であるパターン1で入学希望者数を試算した結果、定員の65名を満たす入学希望者が見込まれる結果となった。

パターン2の「受験を検討する」と回答した受験意向が弱い層については、本学を実際に受験するかどうか定かではないことから、入学希望者として考えるには不確実な層である。しかし、本学人間総合学部の在學生及び短期大学部食物栄養学科の在學生においては、高校2年生の中頃に本学を受験することを決めていたのはごくわずかであることから【表24】【表25】、アンケート回答時点（高校2年生の8月～9月）では「受験を検討する」と回答した層の中にも、本学を受験する者が含まれる可能性は十分にあると考えられる。本学の過去のオープンキャンパス参加者を「受験を検討する」と回答した層と考え、その中から本学に併願選抜で入学した者の割合（11.0%）をもとに試算した結果では、4人の入学希望者がいるという結果であった。この4人が実際に入学すると想定することはできないが、この中から実際に入学する者が出てくる可能性はあると考えられる。

受験意向が弱い層は101人おり【表28】、この中にも入学希望者がいる可能性はある。北陸学院高校の再調査結果を見ても、2021（令和3）年8月～9月のアンケート調査時点より2022（令和4）年6月の再調査時点で受験希望者は増え、入学希望者も増えていることから、

更なる広報活動の強化を図り、受験意向が弱い層からの受験希望者を増やし、入学希望者の確保に努めていきたい。

また、本学の入学者は、過去5年間平均で、83.5%は、所在地である石川県内からの入学者である。【表2】高校生アンケートにおける石川県内の回答者数は、5,087人であったが、石川県県民文化局県民交流課統計情報室が公開している、人口労働グループデータ「石川県の年齢別推計人口」によると、アンケート対象であった、2021（令和3）年度高等学校2年生の年齢人口は、10,132人であることから、高校生アンケートは、石川県内高校2年生の約半数に実施したことになる。このため、高校生アンケートに回答していない者の中からも、本学部に入学を希望する者がいる可能性はあることから、広報活動の強化を通じて入学希望者の掘り起こしを図り、定員の充足につなげていきたい。

(3) 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、大学及び学校運営に係る財政的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、競合が想定される類似の学科を設置している私立大学の学生納付金の設定状況を勘案したうえで、完成年度における教育活動収支差額や経常収支差額を見極めつつ、大学及び学部の運営上における人件費や教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額として設定している。

【表34】

【表34】 学科別学生納付金一覧

(円)					
大学名	学部学科名	入学金	授業料等	初年度合計	4年間累計
北陸学院大学	健康科学部栄養学科	200,000	1,280,000	1,480,000	5,320,000
金沢学院大学	栄養学部栄養学科	200,000	1,280,000	1,480,000	5,320,000
仁愛大学	人間生活学部健康栄養学科	250,000	960,000	1,210,000	4,840,000
新潟医療福祉大学	健康科学部健康栄養学科	350,000	1,500,000	1,850,000	6,350,000

2 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況は、大学案内、リーフレット等の印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けのSNS等の電子媒体による情報の提供、進学雑誌等の各種メディアを活用したPR活動を行うとともに、資料請求者に対する各種情報の提供を行うこととしている。

また、高等学校訪問、オープンキャンパス、高等学校教員向け説明会をはじめ各地域又は高等学校内における進学相談会などの開催を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針、教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通じた活動や想定される進路など様々な教育情報について、石川県、富山県、福井県、新潟県を中心とする高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

(1) オープンキャンパス

本学への入学を希望・検討している高校生やその保護者を対象として、模擬授業をはじめとする各種体験プログラムや学内施設を積極的に公開し、本学への関心を深めてもらうため、オープンキャンパスの実施を予定している。学部就任予定者による学部説明、在学のオープンキャンパススタッフによる施設見学会、授業担当予定教員による模擬授業、大学で学べる学問内容、取得可能資格、入学者選抜制度、大学生活について個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、本学への関心を深めてもらうとともに、入学後のミスマッチがおきにくい学生を入学させることの効果が期待される。

【資料2】 2022年度 広報行動計画 5頁

(2) 進学相談会

石川県、富山県、福井県で開催される民間業者が主催する進学相談会への参加を予定しており、大学・学部資料の配布から、学位授与・教育課程編成・入学者受入の方針、入学者選抜方法の種類や試験科目、書類審査、学力試験、面接試験、小論文試験などの実施方法、授業科目や講義等の内容、取得可能な資格、想定される卒業後の進路などの情報を広く提供することを予定し

ている。高校生と本学の教職員と直接触れ合う機会を多くし、本学への興味・関心を増やしていくことで、オープンキャンパスの参加やホームページへの誘導し、本学への興味・関心を増やしていくことが受験者数を確保し、確実に学生を確保することが期待される。

【資料2】2022年度 広報行動計画 5頁

(3) 高等学校訪問

高等学校訪問を中心とする個別募集活動に向けた募集戦略の強化を図ることとしており、具体的には、入試業務全般を所管し、学生募集に係る業務を担っているアドミッションセンターの職員が中心となって、石川県及び隣接県の高等学校を中心とし、進路指導時期に基づき、進学校と進路多様校のセグメントに基づく高等学校訪問計画の策定し、石川県及び隣接県内の高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。

【資料2】2022年度 広報行動計画 6頁

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、高等学校の教員との信頼関係が構築できた場合には、高等学校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介などの効果が期待される。

(4) 高等学校教員及び学習塾向け説明会

特に進学者が多い、石川県と富山県の2箇所で高等学校の教員を対象とする説明会を開催する予定としており、学長や学部長による大学紹介、学部・学科別の個別説明、開学初年度の入試概要、奨学金制度、大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行うこととしている。本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらふことの効果が期待される。

また、石川県にある学習塾対象とした説明会の開催も予定しており、学習塾に対して本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員と同様に本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらふことの効果が期待される。

【資料2】2022年度 広報行動計画 6頁

II 人材需要の動向等社会の要請

1 人材の養成に関する目的その後の教育研究上の目的（概要）

（1）人材の養成に関する目的

自然と社会，人間に対する理解を深めるとともに，栄養と健康に関わる社会の諸課題を探究し，栄養が豊かな社会と生活の源であることを認識し，人に寄り添い，地域社会と協働し貢献することを教育研究の目的とする。

（2）養成する人材

キリスト教的人間観・自然観に基づき，栄養と体の健康について科学的に理解し，高度な専門知識と高い実践力を備えた，食を通じて地域社会と人々の健康な生活を培う人材を育成する。

2 上記1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

健康科学部の栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の栄養学科の最近3年間の求人件数や就職希望者数に対する就職者数の実績は、以下に示す通り、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、高い数値で推移しており、このことは、既設の短期大学部の栄養学科における人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものである。

今般の健康科学部の栄養学科の設置計画は、社会環境の変化や地域社会の要請を踏まえるとともに、健康科学部の栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の栄養学科における卒業生の進路や卒業生を受け入れる側の需要を十分に勘案したうえで、より充実した教育組織による教育内容として設置することから、これまで以上に求人件数を見込むことができるとともに、卒業後の進路については十分に見込めるものと考えられる。

（1）最近3年間の求人件数の状況

健康科学部の栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の食物栄養学科の最近3年間の求人件数の実績は、平成30（2018）年度の就職希望者 63人に対して求人件数 737件で求人倍率は 11.7倍、令和元（2019）年度は就職希望者 55人に対して求人件数 798件で求人倍率は 14.5倍、令和2（2020）年度は就職希望者 55人に対して求人件数 711件で求人倍率は 12.9倍と高い求人倍率となっている。【表35】

【表35】食物栄養学科 最近3年間の求人状況等

求人年度		平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	平均
就職希望者数		63	55	55	58
栄養士	企業数（社）	69	78	53	67
	募集人数（人）	138	155	120	138
栄養士以外の求人	企業数（社）	353	264	204	274
	募集人数（人）	599	643	591	611
合計	企業数（社）	422	342	257	340
	募集人数（人）	737	798	711	749
求人倍率(倍)		11.7	14.5	12.9	13.0

(2) 最近3年間の就職者数の状況

健康科学部の栄養学科の基礎となる既設の短期大学部の食物栄養学科の最近3年間の就職内定率は、平成30(2018)年度は100%(就職内定者数63人/就職希望者数63人)、令和元(2019)年度は100%(就職内定者数55人/就職希望者数55人)、令和2(2020)年度は100%(就職内定者数55人/就職希望者数55人)と高い就職内定率を示している。【表36】

【表36】食物栄養学科 最近3年間の就職実績

卒業年度	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	平均
卒業生数 (人)	67	58	57	61
進学者 (人)	1	0	1	1
就職希望者数 (人)	63	55	55	58
就職内定者数 (人)	63	55	55	58
就職内定率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
卒業生に対する 就職内定率※ (%)	95.5	94.8	98.2	96.2

* 進学者除く

(3) 想定される競合大学の就職者数の状況

栄養学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科における卒業生の就職内定状況は、令和2(2020)年度の卒業生では、金沢学院大学栄養学部栄養学科(入学定員80人、金沢市内)で100%、仁愛大学人間生活学部健康栄養学科(入学定員75人、越前市内)で100%、新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科(入学定員40人、新潟市内)で100%である。すべての大学で就職内定率100%であり、卒業後の進路については十分に見込めるものと考えられる。【表37】

【表37】想定される競合大学の就職状況

金沢学院大学人間健康学部健康栄養学科 (平成28(2016)年度開設)

◆内定率等

	卒業生数	就職者数	進学者数	内定率%
令和元(2019)年度 卒業生	75	70	3	97.2
令和2(2020)年度 卒業生	63	63	0	100.0

仁愛大学人間生活学部健康栄養学科

◆就職率等

	卒業生数	就職希望者	就職者	就職率%
平成30(2018)年度 卒業生	72	70	70	100.0
令和元(2019)年度 卒業生	61	60	60	100.0
令和2(2020)年度 卒業生	72	72	72	100.0

新潟医療福祉大学

◆管理栄養士・栄養士・栄養教諭の求人数と求人件数

	求人数	求人件数
令和2(2020)年度	560	296

◆就職内定率

	内定率%
令和2(2020)年度 卒業生	100

3 専門の調査機関による採用意向調査結果

(1) 健康科学部栄養学科で学んだ卒業生の採用

栄養学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数 90件の 43.3%にあたる 39件が「採用したい」と回答しており、33.3%にあたる 30件が「採用を検討したい」と回答している。

また、毎年の採用想定人数については、「採用したい」と回答した39事業所では、「1人」が11件、「2～3人」が10件、「4～5人」が7件、「6～7人」が4件、「10人以上」が5件、「わからない」が2件である。「2～3人」を2人、「4～5人」を4人、「6～7人」を6人として、毎年の採用想定人数を合計すると、「採用したい」と回答した 39事業所において毎年の採用想定人数は 133人となる。「採用を検討したい」と回答した 30事業所においても、「1人」が16件、「2～3人」が3件、「4～5人」が1件、「わからない」が 10件であることから、採用想定人数はさらに増える可能性も考えられる。このことから、栄養学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

【資料3】北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関するアンケート調査結果報告書

以上

資 料

【資料1】北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査結果報告書

【資料2】2022年度 広報行動計画

【資料3】北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関するアンケート調査結果報告書